



# エコシン

一般社団法人長野県環境保全協会

No.209  
2020/5/25  
Less CO<sub>2</sub> !

## 気候非常事態宣言 - 2050 ゼロカーボンへの決意 - について

長野県環境部長 猿田吉秀

昨年12月6日、長野県は都道府県として初めて「気候非常事態宣言（2050 ゼロカーボンへの決意）」を表明しました。地球温暖化に起因すると考えられる災害等が世界各地で頻発しており、この非常事態を座視すれば、未来を担う世代に持続可能な長野県を引き継ぐことはできないという強い危機感が宣言の背景にあります。



気候非常事態宣言の表明

また、去る4月1日には、宣言を踏まえた今後の県の気候変動対策の基本方針を「気候危機突破方針」として公表しました。本方針では、2050年ゼロカーボンの実現に向け、長期的視点で取り組んでいく施策の方向性を示すとともに、数値目標として、最終エネルギー消費量の7割削減、再生可能エネルギー生産量の3倍以上への拡大を掲げています。

本県はこれまで、環境エネルギー戦略を策定し、「持続可能で低炭素な環境エネルギー地域社会をつくる」を基本目標に取組を進めてきました。二酸化炭素排出量は、2010年度以降減少傾向が続いており、地球温暖化防止活動推進員の皆様の地域での取組に加え、家庭の省エネアドバイスや住宅新築時の環境エネルギー性能検討制度等の成果が着実にあらわれています。再生可能エネルギー生産量も、収益納付型補助金の創設や自然エネルギー信州ネットとの協働などにより、小水力発電設備導入件数、住

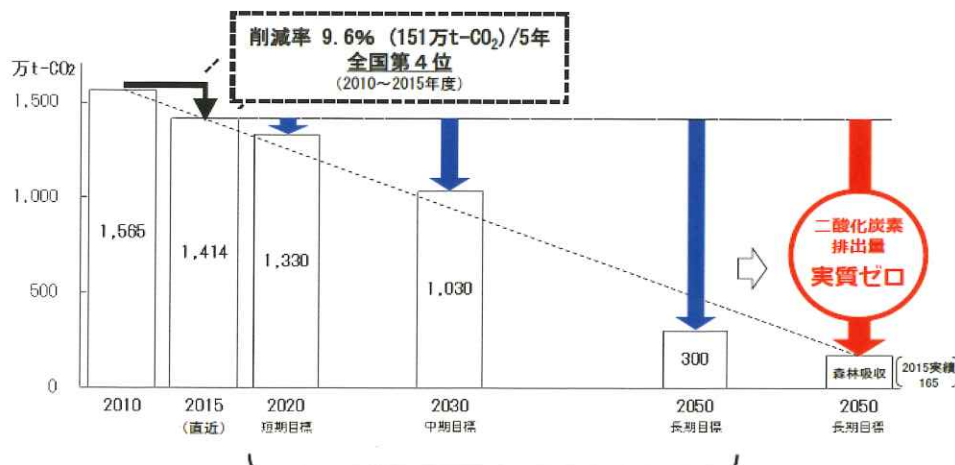
宅用太陽光発電設備普及率とともに全国トップクラスの実績となっています。

気候危機突破方針では、こうした既存の取組に加え、新たに「気候危機突破プロジェクト」を始動することとしています。このプロジェクトは、脱炭素まちづくりや新技術の開発促進など、様々な主体と手を携え長期的視点で取り組む必要がある課題について、官民の連携・協働体制を強化し、ゼロカーボン実現に向けた取組を加速化するものです。今後、市町村や企業・団体の皆様とプロジェクトの理念を共有し、関係者がともに知恵を出し合い、気候危機に立ち向かう場を創出してまいります。



2050年ゼロカーボンの実現は、私たち一人ひとりの意識や行動の変容はもちろん、新たな制度やルールの創設も必要となる難しい課題です。しかし、その先に見据えるのは、今まで以上に快適で利便性の高い社会です。環境と地域に根差した持続可能なライフスタイルを定着させ、地域経済の発展と県民生活の質の向上を目指してまいります。かけがえのない美しい地球を守るため、そして将来世代に胸を張って引き継ぐことができる社会を実現するため、長野県は全力を傾注してまいりますので、県民の皆様の御協力をお願いいたします。

### 長野県における二酸化炭素排出量の削減状況と目標



【参考】 CO<sub>2</sub>以外 (101万t-CO<sub>2</sub> (2015)) を含む現行環境エネルギー戦略 (2013.2) の目標



**わが社の SDGs** —— 会員の皆様の取り組みを随時ご紹介します ——

**ひかり味噌株式会社**

ひかり味噌は、環境マネジメントシステムに準拠した環境管理活動のもと、味噌業界で初となるISO14001認証を取得し、持続的な環境改善・保全活動に努めてまいりました。

「自然の恵み、いただきます。」のブランドコンセプトに表現されるように、味噌は大豆、米、塩といった自然素材を余すことなく使った伝統食品です。

その一方で、安定供給するための製造過程においては、エネルギーの大量消費、大豆の煮汁などの排水が発生し、環境に負荷を与えるという側面も持ち合わせています。

今、世界は様々な社会課題に直面しています。この状況を受け、2019年10月より当社はSDGsへ

の取り組みをスタートしました。各部門の執行役員を中心に結成したSDGs推進委員会により、19個の長期的な成果目標と4つの重点課題を設定しました。

[4つの重点課題]

- オーガニック商品の拡充
- 環境に配慮した商品設計
- ダイバーシティの推進
- 食のバリアフリーの実現

私たちの使命「おいしさと安心を徹底追求した食の提供に努め、世界中の人々の健康で楽しい生活に貢献すること」を未来にわたって実現し続けるため、企業の成長とそれに伴う環境対策、社会貢献活動をSDGsに沿って体系化し、SDGsが掲げる社会課題解決に取り組んでいきます。

(広報室長 阿部あゆみ)



プラスチックを80%削減したオーガニック即席みそ汁のパッケージ

**株式会社フォレストコーポレーション**

私たちフォレストコーポレーションがSDGs達成に向けて重点的に取り組んでいるテーマは2つあります。ひとつは県産・国産の木材を使った住宅の普及、もうひとつは大工職の正社員採用です。



注文住宅「工房信州の家」では、2000年のブランド立上げ当初から長野県産材をふんだんに使う家づくりに特化してきました。長野県は県土の76%を森林が占める緑の国でありながら、新築住宅のうち県産材利用率はわずか5%にとどまり、不安定な木材供給ルートにより地域材の調達もままならない状況でした。

私たちは地元製材所・山守とグループを組み、全国でも前例のない木材一貫生産システムを確立して、今では県産材使用率85%、その他もすべて国産材を使用した良質な住宅をお届けしています。

また、職人を志す若者の安定雇用による伝統技術の継承を目指し、2015年から大工職を正社員として採用してきました。



今では7名の大工社員が県内各地の施工現場で活躍しており、一期生メンバーはい

よいよ独り立ちし親方として現場を率いる場面も増えてきました。

大工社員のうち3名は女性であることも特徴的で、意欲ある人材であれば性別などに関わらず平等に活躍できる環境づくりを進めています。

(企画営業本部 鷲澤仁美)



## 家庭の省エネアンケート結果 省エネアドバイス ビフォーアフター

家庭における省エネ行動の実態把握を目的にアンケート調査を実施しました。

- ◆調査期間……2019年11月～12月 (長野県家庭の省エネサポート制度運営業務委託事業)
- ◆実施方法……省エネアドバイスを受けた人がアンケートハガキにより回答。
- ◆対象地域……県下一円 ◆調査件数……1,000件 ◆有効回答数…342人

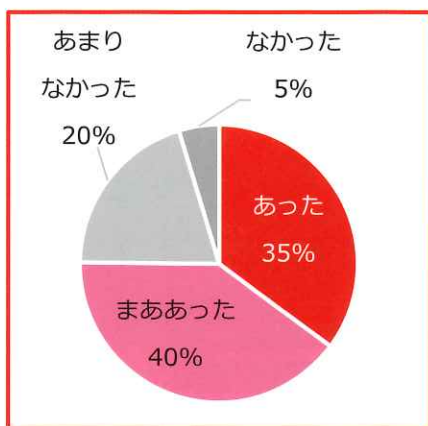


### 家庭の省エネサポート制度とは……

県が認定したエネルギー供給事業者および電気機械器具等小売事業者（省エネサポート事業者）の社員を「省エネアドバイザー」として登録し、その社員が業務のなかで家庭を訪問する際（保安点検・検針・商品配達等）に、簡単な省エネアドバイスをするもの。

### 省エネについて

関心・意識はありましたか？



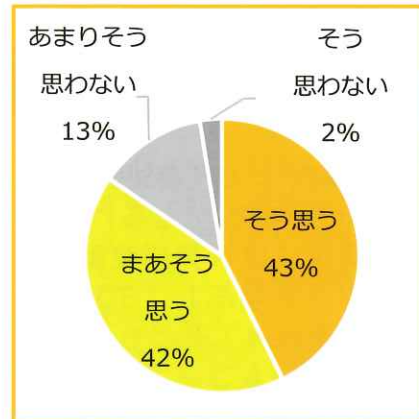
⇐省エネに対する関心・意識が高い人（「あった」「まああった」と回答）は75%。

⇒アドバイスが参考になった（「そう思う」「まあそう思う」と回答）人は85%。

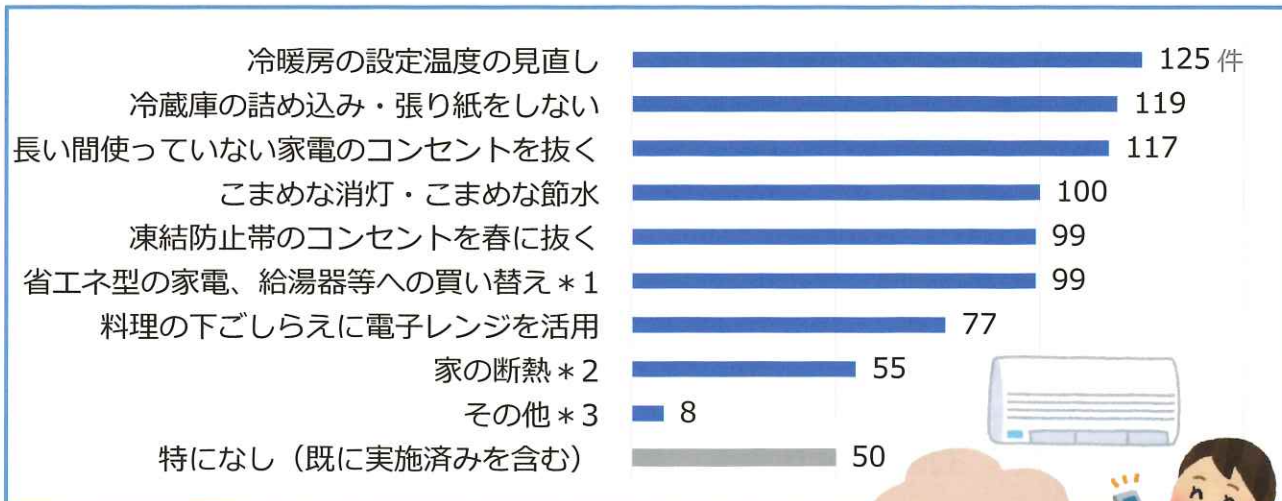
省エネへの関心・意識が高い人ほど、アドバイスを参考にする傾向が見られました。

### アドバイスは

参考になりましたか？



### アドバイスを受けて、新たに「実施した」「実施したいと思った」省エネ行動は？（複数回答）



- \*1) 照明のLED化、冷蔵庫・給湯器・エアコンの買い替え、など
- \*2) 窓に断熱シートを張る、二重窓・二重サッシにする、など
- \*3) エコカーへの買い替え、冬に厚手のカーテンに替えた、服装、など

夏は 28℃  
冬は 20℃



省エネへの関心・意識が高い人ほど、アドバイスを受けた後、省エネ行動をとる件数が増える傾向が見られ、関心・意識が高い人の平均は約2.5件で、複数の行動をとっていることがわかりました。あなたのご家庭では、このアンケートにある省エネ行動、実践していますか？！



6月は環境月間



6月5日は世界環境デー（環境の日）



## 「茶臼山・蝶の博物館 -昆虫ミュージアム-」がオープンしました

「茶臼山・蝶の博物館 -昆虫ミュージアム-」が、長野市篠ノ井の茶臼山動物園北口の「茶臼山モノレール」中央駅舎内にオープンしました。国内外のチョウやカブトムシなど、今は採集できない貴重なものを含めて約 1,500 種の標本が展示されています。

この博物館は、当協会会員である(株)中嶋製作所の創業 100 周年記念事業として、日本昆虫協会長野支部事務局長の写真家 栗田貞多男氏と協力して設立された、学びながら楽しめる、入場無料の昆虫ミュージアムです。

(新型コロナウイルスにより 5 月 17 日現在休館中。開館日をご確認ください)



## 「信州環境カレッジ」講座の募集が始まりました

募集講座は、広く参加者を募る「地域講座」と学校への出前講座となる「学校講座」の2つです。地域講座には、「気候変動を考える」、「中央アルプスを学ぶ」、「SDGs について学ぶ」及び「夏休み！子どもエコチャレンジ」のカリキュラムコースが開設されています。

講座登録の主なフローは次のとおり。

- ①「実践者登録」を行う。
- ②「講座登録申請」を行う。カリキュラムコースを選択（地域講座）。

- ③補助金を希望する場合は、経費補助を申請。
- ④講座実施後は、実施結果報告書を提出。経費補助請求書を提出。
- ⑤補助金が交付。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント・講座の開催にあたっては、「県主催イベント・行事及び施設運営についての当面の判断基準」を参考にご検討をお願いします。詳しくは、信州環境カレッジの HP 又は事務局へお問合せください。

(信州環境カレッジ運営事務局)

## 催し物の延期・中止と施設の休館のお知らせ

新型コロナウイルスへの対応で、中止・延期・休館などになった催し物や施設をお知らせします。

- |    |                                                                   |
|----|-------------------------------------------------------------------|
| 中止 | 第 20 回ながのエコグッズコンテスト (当協会主催)                                       |
| 延期 | 体験と学びの環境博 ~信州環境フェア 2020~ (1 年程度延期)<br>ZEB 設計技術者養成講座 (10 月以降に開講予定) |
| 休館 | 当協会 1 階 エコスペース (当面の間)                                             |

### 会員数

(2020 年 4 月 30 日)

- |        |       |        |       |
|--------|-------|--------|-------|
| * 特別会員 | 92 名  | * 一般会員 | 424 名 |
| * 賛助会員 | 201 名 | * 総会員数 | 717 名 |

### 事務局だより

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、事務局でもテレワークを導入し、また、協会の会議や催事を見直して、延期・中止しています。会員の皆様にはご不便をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。

### 発行元

〒380-0835 長野市新田町 1513-2

□ 一般社団法人 長野県環境保全協会

TEL.(026)237-6620 FAX (026)238-9780  
E-mail:nace@janis.or.jp http://nace.main.jp/

□ 長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL.(026)237-6625 FAX (026)238-9780  
E-mail:nccca@dia.janis.or.jp http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/

□ 長野市地球温暖化防止活動推進センター

TEL.(026)237-6681 FAX (026)237-6690  
E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp  
http://www.eco-mame.net/